

だい かい しょうわ みらい かいぎ 第3回「昭和未来会議」のまとめ

1. がいよう 概要

へいせい ねん がつ 6 か ちりゅうだんち しょうわろうじんいこい いえ にて、だい 3 かい しょうわ みらい かいぎ かいぎ
平成28年8月6日、知立団地「昭和老人憩の家」にて、第3回昭和未来会議を開催しました。
テーマは「しょうわ ちく で「やりたいこと」を具体的にしよう!」。だい 1 かい に引き続き、26名と多く
の方にご参加いただきました。

2. まとめ

こんかい はこれまでの話し合いをもとに4つのテーマのグループに分かれ、かだい たい ぐたいてき
今回はこれまでの話し合いをもとに4つのテーマのグループに分かれ、課題に対して具体的に
どんなことができるか、やりたいかを考えました。各グループの意見を集約すると、以下のように
になりました。

グループ①『交流促進①～イベント等で交流の機会を！～』

<p>まつり お祭りなど</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東小がっこうのぜん住民たいしょうでお祭り（飲食は無料で） → 市からの補助があれば ・ 昭和地区全体で祭りをやる。（例：盆踊り） ・ 現在行っている昭和盆踊りをPRして、規模を大きくしたい ・ 学校の運動会を地域の人に参加できるように
<p>ひがし こ 東っ子カーニバル</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東っ子カーニバルを昭和全体で ・ 東っ子カーニバルを一日だけのイベントではなく、継続・発展させたい
<p>きよじゆうがいこくじん こうりゆう 居住外国人との交流</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人も交えてサッカー、フットサル ・ 知立団地居住の外国人と盆踊りなどを通じて交流したい。 ・ 外国人は日本（知立団地）に住んで、どんなことに困っているのか？ ・ 外国人はいそがしい。日本人は高齢者が多い
<p>ぼうさい 防災</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを実施することで、団地の外周、団地内、外国人との交流が生まれ、たくさんの人と関われる。その人達で防災等の協力体制を確立する ・ 防災訓練を楽しくやる ・ イベントは方法であって、目的をもつことが大切。防災協力体制をつくること
<p>ほか その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは未来会議メンバーで交流会。第4回がおわったら打ち上げ。メンバーの交流を深める

グループ②『交流促進②～交流の場づくり～』

知り合うきっかけ

- ・まず交流会を開き、知り合う機会をつくる
- ・知りあいを増やす
- ・身近な行事に誘い合っるとともに参加する
- ・週に1回会いましょうなど → 友達を連れてくる
- ・知りあいを増やせる活動をする
- ・既存の活動に人を呼びこむ。集まりやすいもの

交流の場

昭和地区で行っている交流の場の紹介

昭和地区だけで交流するのもよいが、他地区の方も気軽に参加できる場があるとよい

お茶会、集会場などで話しやすい場をつくる

あらたまって集まる場を設けるのもよいが、気軽に参加できる場があるとよい

多世代交流

- ・世代（子ども、高齢者）に関わらず、遊んだり交流がもてるとよい
- ・お年寄りの知恵を子どもに
- ・老人は老人同士、子どもは子ども同士、同じ場所で遊ぶ
- ・大人も子どももいっしょに交流できる場づくり
- ・子どもを守る、高齢者が集まる、外国人と関わる、3つが重なるといい

子どもの遊び場

- ・大人が見守り、子どもが自由に遊べる場所づくり
- ・子どもの遊び場づくり。大人は見守りと手助け

外国人との交流

- ・外国人の話 を聞ける場所がほしい
- ・外国の方、日本の方ともに交流できる場づくり
- ・外国の方も防災訓練に参加してもらいたい
- ・外国人の親世代、子世代の実情を知れるとよい
- ・言葉を（日常）学ぶ教室をつくり、参加する
- ・学校を通じて、外国人と日本人の地区交流
- ・外国人が多く住んでいるが、リーダーがいない。リーダーを決めてもらい、会話したい。誰に相談していいのかわからない。できれば自治会などの役員に。
- ・児童センターで互いの文化の紹介

コミュニケーション

- ・ 何気ない会話ができないのは、知らないから
- ・ スーパーなどで何気ない会話ができるようにする
- ・ 信頼関係をどうやってつなげるか
- ・ まず、お互いがあいさつできる関係になる

公園

- ・ もやいこモーニングみたいなものを公園でやる
- ・ 公園で昔遊びを大人が教える
- ・ 公園で持ち寄りランチ会をする
- ・ 公園でスポーツ鬼ごっこをする
- ・ 以前公園にあったバスケットゴールを直す、戻してほしい（遊ぶ場として）
- ・ 公園でボール遊びをできるようにしてほしい

子どもの遊び場

- ・ 子どもに対し、外遊びをすすめる
- ・ 子どもの遊び場づくり
- ・ バスケットゴールがほしい

ラジオ体操

- ・ ラジオ体操後の時間を利用して、交流する
- ・ ラジオ体操 → その後に交流できるとよい
- ・ 夏休み以外でも公園でラジオ体操をやるといいかも
- ・ 公園などで一緒に体操など楽しいことをして、仲を深める

グループ③『支援が必要な方に対してできること』

高齢者への対応

- ・ 支援を必要としている人を地域で把握する。災害のときなど
- ・ ごみ出し支援（高齢者）。安否の確認 → 近所の住民に意識をもってもら
→ 情報を得ていく。行政連絡員、民生委員、階段10軒の共同意識
- ・ 棟ごとに組長さんを、外国人をふくめておきたい。
- ・ 日本人のお年寄りや外国人がなかよくなってほしい。災害の時に助けあえるので、意識を高める
- ・ 健康は大きな関心事（高齢化の中で）。身近な健康サロンがあればいいな

外国人への対応

- ・ 遠くから来ている外国人への対応。困り事の相談窓口
- ・ 周知不足？ もやいこハウスで週3日通訳を実施している。10時～12時は閉まっている
- ・ 地域ですれちがった人には、笑顔で挨拶。親になれば支援の必要な方がみえてくる

外国人へのルール周知

- ・ ごみ捨てルール。回収の後、すぐに可燃ごみを捨てるのでルールを教える
- ・ クーラーのホース（北側の窓）を外に出しているので困っている
→ 解決方法を教える
- ・ 外国人へのルールの伝達 → 仲介できる人（行政に精通、通訳も）
- ・ 日本の税金などのしくみなどがわからない → 多言語化、ルールを理解してもらう
- ・ 同報無線を多言語にしてほしい
- ・ 外国語で質問したらすぐ返事が来るようなスマホの機能がほしい。市役所かネットの掲示板があればできるのでは

グループ④『昭和地区の魅力を整理してPRしよう!』

高齢者福祉の魅力

- ・ 団地内のデイケアは良心的
- ・ 老人福祉都市 いきいき
- ・ 老人会
- ・ 福祉（高浜市）

小学校の魅力

東小学校のPR

多様性・国際交流の魅力

- ・ いろいろな国籍の人がいる → それぞれのふるさとの紹介
- ・ 多様性を特徴にできないか
- ・ 万博だ（暮らしている人への配慮）
- ・ 外国の文化・習慣を知ることができる
- ・ 子どもの国際感覚が育つ

その他

- ・ 買い物、郵便局、銀行が近い
- ・ 分かれぬお祭
- ・ 昭和地区ならではの悩み・問題。逆に、個性・特色としてPR